智恵子抄を中心に（天空）

尾崎喜八氏

今日は天空予報によりますと、朝は晴れていますが、夜は曇って小雨になると言って いましたが、空模様の方は曇っていて、まだ一つまた、きょうの天空はようなお日に、ど同じ天空はこれまでにない。実に太陽が身に沁みるような暖かいのです。感じは高村さんの「智恵子抄」の中に私達が感じていることと同じであります。智恵さんの寫眞を見る時にも感じることと同じです。暖かくて、しかもどこか冷やりとして、それでいて何となく冷たく感じです。

一箇月程前に私が佐藤春夫さんから「載冠島」を送られました。

春夫さんは如何に智恵さんを画いていますが、この中に仙女智恵さんの事が、が、この章は如何ほど美しく綿密に仙女とはつまり一の事が、

春夫さんは如何に智恵さんを画いています。

的であったかと、子事を書いています。智恵さんは紙を切りぬいて切り抜き画を作ったのですが、あれは他の世界から美を持って来るだけ

と言っています。而し私は智恵さんは鶴の化だと思います。

鶴が天界から下りて来て又帰って行くのです。

野鳥の研究家中西悟堂さんは大白鳥の声の入っているレコードを